

47GHz F9 の W/Km はアマチュアとしてどこまで可能なのか？

名張アマチュア無線クラブ・マイクロエーブ愛好部会
JA2PP 西村 啓一

伊賀忍者の里名張の山中にも各地からミリ波の FB な交信実績が色々と伝わってきます。それらを見聞きするたびにクラブの面々はやきもきし、遂には「DX 記録は伊賀盆地内では作れそうにないから小電力でどれだけ飛ぶか通信実験をしてみよう。」と準備もそこそこ、片や名張市桔梗が丘 5 番町 J R 2 I Z O 局家の屋上（以下「桔梗が丘チーム」と記す）に機材をセット。片やそこから約 4.7Km 離れた名張市つつじが丘南 8 番町の水道タンクの高台（以下「つつじが丘チーム」と記す）に移動して機材をセット。そのセットの内容はというと

桔梗が丘チーム

親機 = FTV? 1 2 0 L (F9 用)・C? 7 1 0 (F3 用)

トランスバータ = ○ TX 側は JFONLK さん製作のバラクタ逡倍型アップバータ（出力約 2 mW）,

○ RX 側は JA1EPK さん製作の DB 6 N T 基板を使ったミキサードiode HP 社 H S C H? 9 2 5 1 のハーモニックミクスー式トランスバータ

ANT = T D K 製 TA-352 35cm 径パラボラに JA1ATI さん製作 47G 用カセグレン給電器

電源 = 自動車用バッテリー

つつじが丘チーム

親機 = FTV? 1 2 0 L (F9 用)・TH? 5 9 (F3 用)

トランスバータ = TX・RX 共用 JA1EPK さん製作・J F 0 N L K さん調整の DB 6 N T 基板使用ハーモニックミキサー方式（ダイオード = H P 社製 H S C H? 9 2 5

1) トランスバータ

ANT = T D K 製 TA-352 35cm 径パラボラに JA1ATI さん 47G 用カセグレン式給電器

電源 = 自動車用バッテリー

時は平成 1 2 年 3 月 1 日の（「随分古い話やなあ・・・」新潟方面の陰の声）

午後 1 時。

当日の天候は晴れ、気温は・・・もう忘れた、連絡用周波数は 145MHz 帯、以下その実験状況

つつじが丘チーム「パワーのある桔梗側から F 3 で送ってみなはれ、どうぞ。」

桔梗が丘チーム「ほナ送るで・・・と。」

「はいこれが 47GHz の声です。いかががどうぞ。」

つつじが丘チーム「うわっ、でっかい声・・・まだビームの方向合わせもしてないのに 5 9 どうぞ。」

桔梗が丘チーム「ほんまかいな。ほナそっちから 0,17mW のパワーで送ってどうぞ。」

つつじが丘チーム「0,17 と違うで 0,2mW や。」「はいっ、これが 47GHz の声、いかががどうぞ。」

桔梗が丘チーム「なんや、あっけないなあー。これではビーム合わせもでけへんなー。59 どうぞ。」

つつじが丘チーム「ほんま。ビーム合わせもする間ないなあー。F9 でおくってや。」

桔梗が丘チーム「よっしゃ。F9 の 2 mW で送りませ、目皿にしてキャリヤ拾うてや。」

つつじが丘チーム「瓦の屋根が映ってませ、色は付いてないなー。ちょっと方向合わせするわ・・・

あっ色も出ました綺麗なもんや。カメラの前でなんか喋って、ああ声も明瞭ですわ。M5C どうぞ。」

桔梗が丘チーム「そしたらそっちから送って・・・はいっキャリヤを掴んだ・・・あっ色は付いてないけどぶっさいくなおっさんの顔が映ってますわ。」

つつじが丘チーム「ぶっさいくやてか、そっちのモニター潰れかけやなー。色男の顔や。ちゃんとビーム合わせて色付けたってや.. どうぞ。」

桔梗が丘チーム「うーん何とか色がついてきたわ。顔は汚いけどバックの緑が綺麗や。声も入ってるわ F9 で M5C です。どうぞ。」

といった風なわけで伊賀の空は 47GHz がにぎやかです。「この秋には関西マイクロの OM さんらを招いて伊賀の山々で F9 の交信をしよう。」と盛り上がっています。それまでに前祝を毎晩行いつつ。

以 上